# 悠久の時の流れを体験する…

平成26年9月におよそ60年ぶりの屋根の大改修工事を終えた

## ① 国宝大法寺三重塔 国宝

惣門から参道を登ると正面に観音堂があり·西北の小高い丘に三間四方の檜皮葺·三重塔（13·8m）が中空に舞うツルの羽のような優雅な姿をみせる東山道を旅する人々は「見返の塔」という·大正9年解体修理の折りに·正慶二年（1333）正月二十六日に建立した墨書を発見·建築に携わったのは大巧·天王寺四良■殿·小番匠七人御わたりとある·塔の一階部分の来迎壁·柱·長押に彩色豊かな花鳥図があり·この度文化庁により復元された

## ② 大法寺観音堂厨子及び須弥壇 国重要文化財

厨子は（高さ3m）大型·方一間の入母屋造で禅宗様·鎌倉時代の作·厨子の屋根の棟の左右に鴟尾をつけ木造では日本最古·須弥壇は厨子を載せている·上下に繰形をつけ腰のくびれた典型的な禅宗様であるが厨子と同じ鎌倉時代の作と寺伝がある·識者は室町時代の作であると云う

## ③ 大法寺·観音堂十一面観音立像 国重要文化財

大法寺の本尊（身丈170cm）桂の一木造·平安時代の十一世紀の作と推定·眼は両眼を閉じ·軽く開いた唇·眉の美しい曲線·面長でふくよかな頬は慈悲の相を表す·頭上には仏面11体があり三面には·忿怒面を持つ

## ④ 十一面観音の脇侍普賢菩薩像 国重要文化財

普賢菩薩は通常·釈迦如来の脇侍である·寺の伝承が十一面観音の脇侍として保存され·指定の際の仏名である·身丈（107cm）十一面観音と同じく柔和で美しい姿

## ⑤ 推定東山道·浦野駅跡 村指定史跡

昭和50年4月·浦野駅と推定される当郷·岡石·惣門地籍を発掘調査·奈良·平安時代の遺物は発見されたが駅の建物遺構は確認できなかった·後方の東日向には駅寺といわれる名刹大法寺がある

## ⑥ 黒丸城跡 村指定史跡

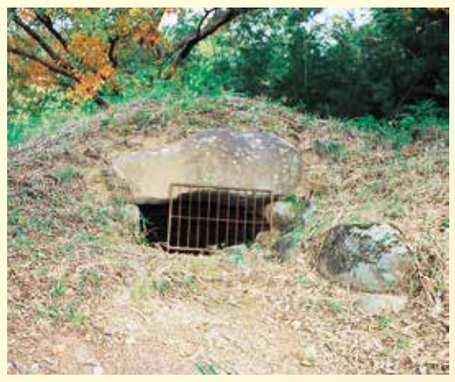
当郷·寺村の上方·飯綱山の西山麓の稜線に築かれた·中世の山城で·本郭は東西8m·南北18mで全容は南斜面300mにわたる階段状に帯郭があり·東西は深い渓谷·奥まった所に水手があり·要塞堅固な山城で越前の朝倉氏との関係を云々する向きもあるが不明·東昌寺が朝倉氏菩提寺の心月寺の末寺であった事からの推測か?<標高735m>

## ⑦ 村松の宝篋印塔 県指定文化財

基壇に銘文があるのは全国的に稀で村松籐次郎が田畑を善福寺に寄進した旨·沙弥朝阿が貞治四年十二月（1365）と記す

## ⑧ 廃昌法寺·千手観音立像 村指定文化財

久保観音堂·胎内銘によれば慈覚大師の御正作也·仁寿辛未（851）とあり藤原時代の名作·後世の修復が悪く残念

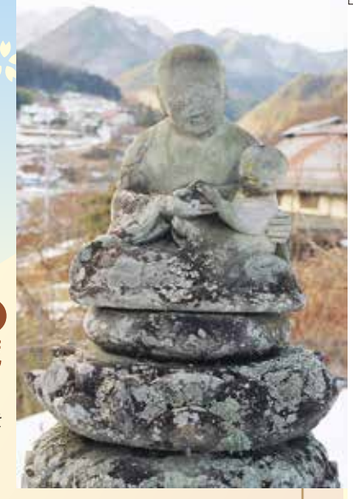


## ⑨ 塚穴古墳 村指定史跡

村松·原地籍·通称小山の頂きにあり·上小地方では最大の円墳·七世紀の築造·副葬品は馬具·刀剣·勾玉など数十点·墳丘の底辺18m·高さ4m·葬者不明·日本霊位記にある他田舎人蝦夷の祖か?東山道を直下にする事から浦野駅の駅長の墓か?

## ⑩ 子檀嶺岳山麓の風穴 村指定史跡

子檀嶺岳（1223m）から·崩落し堆積した岩石を吹き抜ける冷気を利用斜面に城壁を思わせる·石積を施す·大正八年青木風穴株式会社を設立·養蚕業の盛んな地域で蚕種の保存のために利用·温度の変化が極小で2月平均気温0度。真夏の7～8月で15度位·近郷の養蚕業者が利用·蚕種抑制の自然の保冷倉庫·今も中に入ると冷気を感ずる
<建物容積·間口8m　奥行17m　深さ4m>



## ⑪ 木立の子安地蔵 村指定文化財

木立の地蔵堂の庭にある丸彫の石座像·母子健全を願う優しい顔の名作

## ⑫ 子檀嶺神社の狛犬 村指定文化財

室町時代·文明7年（1475）の胎内銘がある

## ⑬ 阿弥陀堂の六地蔵幢 村指定文化財

六角形の幢の中を刳り抜き·六体の地蔵が入っている·竿には元禄四年九月の銘がある

## ⑭ 諏訪社本殿 村指定文化財

中挟の豊受皇大神宮境内にある桃山時代の作·上野山から移建当時は朱塗り「三間社流れ造」

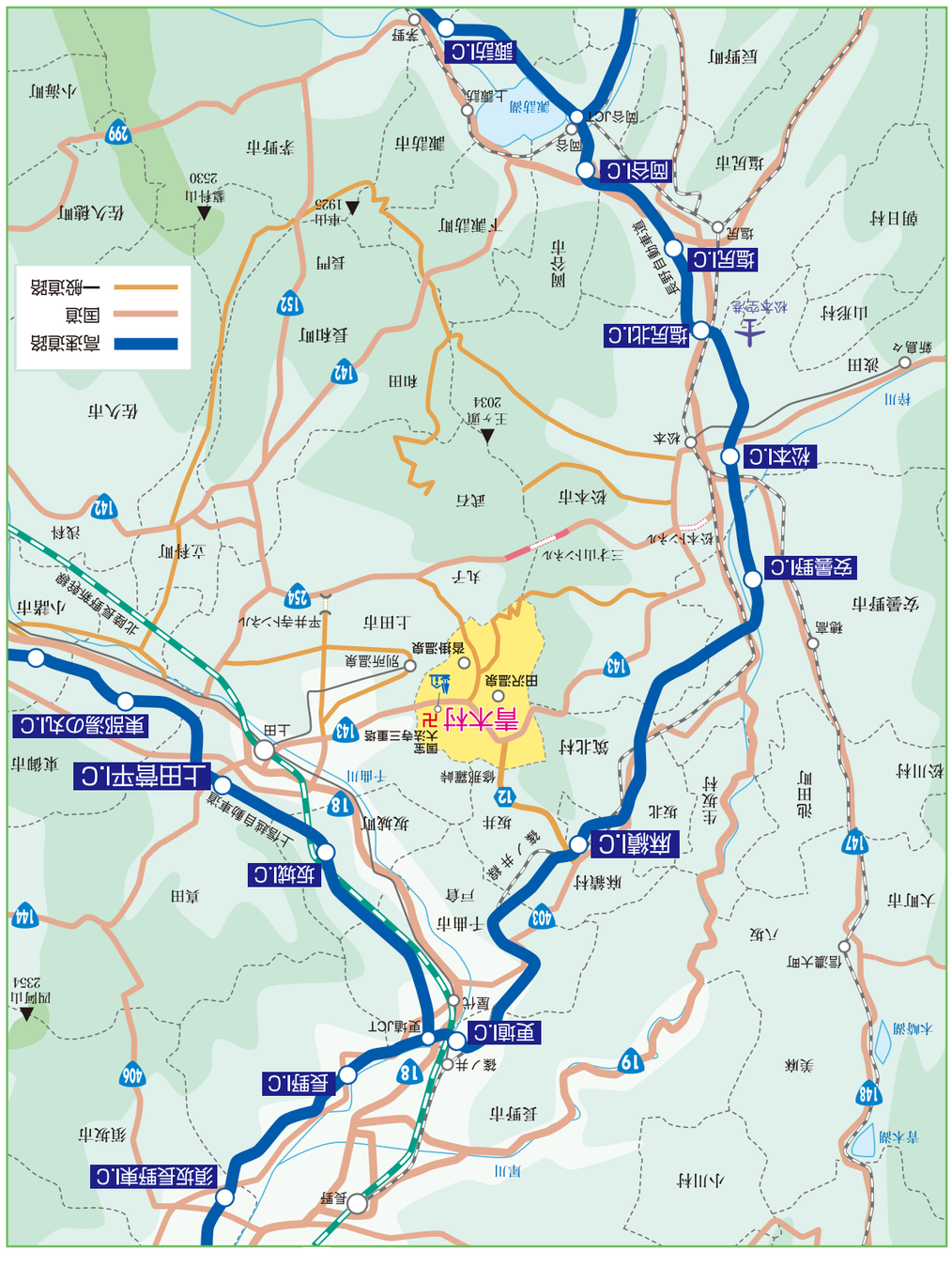
※さらに詳しい情報は、青木村誌「文化財編」をどうぞ

青木村・青木村教育委員会

## お問い合せ先

**青木村・青木村教育委員会**

〒386-1601
長野県小県郡青木村大字田沢3252
TEL:0268(49)2224　FAX:0268(49)3890

## 交通のご案内

■長野自動車道·麻績I.Cより……車約25分·18キロ
■上信越自動車道·上田菅平I.Cより……車約25分·17キロ
■北陸長野新幹線·東京駅～上田駅……1時間20分
JR上田駅より青木行きバス……約30分·12キロ